



鹿児島県 農地バンクだより

～活かそう農地、託そう未来～

第19号

令和6年3月26日発行

公益財団法人鹿児島県地域振興公社

(鹿児島県農地バンク)

TEL 099-223-0223 (農地部直通)



4年連続2,000ha超の農地集積を達成

～令和5年度転貸実績まとまる～



令和5年度の農地中間管理事業による転貸面積は、昨年度と同等の2,033haで、4年連続で2,000haを超えました。また、累計転貸面積は18,237haとなりました。

事業活用者様のご理解・ご協力及び関係市町村等の農政担当課・農業委員会をはじめとした関係機関・団体の皆様が農地中間管理事業を推進してくださった賜物と深く感謝申し上げます。引き続き、事業に対する皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

農地中間管理事業推進担当者会議を開催しました

- ① 日 時：令和6年2月7日（水）10:00～16:00
- ② 場 所：アートホテル鹿児島（鹿児島市）
- ③ 参加人数：150人（業務委託先担当者、関係機関等）
- ④ 内 容：
 - ア R5年度事業の実施状況及びR6年度事業の推進、関連施策等について（県）
 - イ 地域計画、農地整備事業との連携、農業委員会活動について（県、県農業会議）
 - ウ 農地中間管理事業の事務について（農地バンク）



合意解約のルールが変わります

R6.4.1以降に申出があった合意解約は、以下の取扱いとなりますのでご留意ください。

- 1 解約時期は原則として契約周期に合わせる（やむを得ない場合を除く）。
- 2 契約周期の途中で解約する場合も、バンクは1年分の賃料を徴収・支払する。

事業活用優良事例集できました

このほど「令和5年度版農地中間管理事業活用優良事例集」が完成しました。3月末日までに関係機関等へお届けしますので、取組の参考にご活用ください。



農地バンク事業活用者からのメッセージ ～担い手訪問 推進中～

①経営品目・面積（うち、バンク活用面積） ②経営農地がある市町村 ③農地バンクを利用している感想 ④集約に対する考え ⑤今後の経営の意向 ⑥農地制度に対する要望等

南九州市

しもくぼ すみはる 下窪 純治さん

- ① 茶8.6ha（5.3ha）
- ② 南九州市，指宿市，鹿児島市
- ③ 事務処理が楽になった。政策支援が受けられる。
- ④ おおむね集約されているが，基盤整備してあるところでの交換分合は進める。
- ⑤ 現状維持
- ⑥ 相続未登記農地が解消されれば，やみ小作はかなり少なくなると思う。



下窪さん
（生産協会長が描いた絵の前で）

垂水市

株式会社 丸大 たなか だいすけ 代表取締役 田中 大輔さん

- ① インゲン10ha，スナップエンドウ3ha（4.8ha）
- ② 垂水市
- ③ 支払いが楽になった。政策支援を受けられる。
- ④ 概ね集約されている。最適化推進委員を務めており所有者からの相談も多い。
- ⑤ インゲンを2ha程増やしたい。付加価値を上げて出荷していきたい。
- ⑥ 農業委員会でもバンク事業を推奨している。市のバンク推進員が良く動いてくれる。



田中代表取締役
作業場横の冷蔵庫前にて

曽於市

有限会社 グリーンエース はまさき しげる 代表取締役 濱崎 茂さん

- ① ゴボウ25ha，ニンジン30ha，サツマイモ67ha
ラッキョウ7ha（22ha・鹿児島県）
- ② 都城市，曽於市
- ③ 賃料支払に限らず，貸借の管理が楽になった。
- ④ 所有者は誰にでも貸しながらない。耕作者は自ら土づくりした農地を交換しながらない。
- ⑤ 従業員不足のため現状維持が精一杯。経営の効率化を図りたい。
- ⑥ これからの人には排水対策を施した基盤整備による集約が必要。



濱崎代表取締役
事務所前にて